除雪

冬の道路確保はみんなの協力で

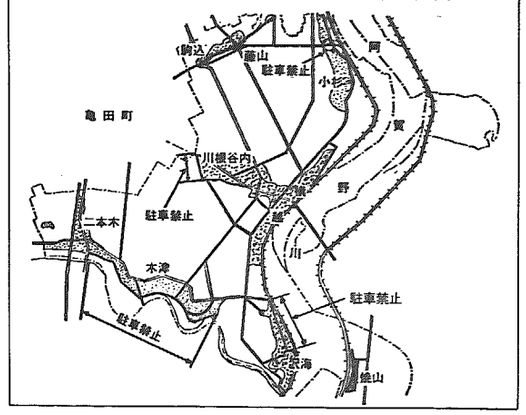
いよいよ本格的な雪のシーズンを迎えますが、村では例年のように住民の通勤、通学や日常生活に支障がないよう道路除雪と防災対策について体制を整えています。

また、これからは交通事故や、火災の発生しやすい時期にも入りますから十分注意してください。

路上駐車は除雪の大敵

ところで、道路除雪を妨げる一番の原因が路上駐車です。一台あるだけで、その地域全体に影響を及ぼす場合もあります。道路除雪を速やかにできるようみなさんのご協力をお願いします。

村道の主要除雪路線及び指定駐車禁止区間



また、危険ですから作業中の除雪車には絶対に近づかないでください。特に子どもやお年寄りの方はご注意ください。

なお、そのほかにも次のことについてもご協力くださるようお願いします。

雪降ろしは早めに、降ろした雪は各自で後始末を

屋根の雪は家屋の倒壊を考慮して早めに降ろすようにしてください。

降ろした雪は各自で後始末をし、交通の支障にならないようにしてください。

生け垣、樹木の枝おろしを

道路際の生け垣、樹木の枝が雪の重みで道路に垂れ下がり除雪作業の妨げに成る場合も多いため、雪の降る前に枝切りをしておいてください。

空き地や畑など雪捨場に利用を

大雪になると雪捨てに困ります。特に家並みの混んでいる地帯では、宅地の空き地あるいは畑などを支障の無いかぎり雪捨場に利用させてくださるようご協力をお願いします。

臨時駐車禁止区域の設定

除雪車の運行に支障をきたさないよう十二月一日から来年二月二十八日まで臨時駐車禁止区域（図面参照）を設定しています。なお、そのほかの道路についても、道幅がせまいため、駐車すると無余地違反となる場合がありますのでご注意ください。

除雪計画路線

路線		除雪作業者
村道	主要幹線	村有機械で除雪業者に貸与委託
	地区内道路	業者に委託
国道49号		建設省で除雪
県道		県で除雪

平成6年度「税に関する標語」関東信越国税局長賞佳作に

松村英恵さん（横中一年）

横越村租税教育推進協議会では税教育の一環として、横越中学校生徒を対象に「税に関する標語」を募集してきましたが、次の通り入賞者が決定し、十一月十七日の租税教育推進協議会の総会で表彰されました。

関東信越国税局長賞佳作

松村英恵　一年
「知っておこう　税金の　使い道」

新潟税務署長賞

高橋幸恵　三年
「スマイルひとつ　またひとつ　納めるぶんだけ　ふえていく」

横越村長賞

・中村美奈子　一年
「税金は　暮らしの身近で役立つよ」
・渡辺陽平　一年
「税金は　明日と言う未来につかわれる」
・遠藤望　一年
「税金で　住みよいかんきょう　村づくり」
・田辺絵美　二年
「税金は　きっと　役立つお金です」
・佐藤忍　二年
「やくだつ　税金　村民のために　ここにあれ」
・石井香　三年
「税金は　生きるものへの影役者」
・遠藤真由美　三年
「税金で　いつものくらしを　活性化」
・谷内田陽子　三年
「税金も　いろいろあるよ　世のために」
・原佳奈子　三年
「和やかな　老後を送ろう　税金で」
・五十嵐豊　三年
「生きてます　あなたが納めた　税金も」

ありがとうございました赤い羽根共同募金

小学校で集まった募金を村長へ

十月一日から始めた赤い羽根共同募金運動にご協力をいただきありがとうございました。

この募金の多くは、平成七年度に村の社会福祉協議会に配分され、各種福祉事業に使われます。

○実績額
二、三七五、〇〇〇円

○県内の福祉に使われる額
五四八、〇〇〇円

○村社会福祉協議会に使われる額
一、八二七、〇〇〇円

ご厚志に感謝します

越後天然ガス㈱より、横越大祭の収益金を赤い羽根共同募金にと一六、一三八円の寄付がありました。

平成6年度赤い羽根共同募金結果

単位：円

種類	目標額	実績額	達成率
戸別（封筒）募金	1,400,000	1,604,513	114.6%
法人（企業）募金	505,000	716,966	142.0%
学校募金	30,000	36,436	121.5%
無人箱募金	3,000	5,805	193.5%
職域募金	10,000	11,280	112.8%
合計	1,948,000	2,375,000	121.9%

横越村の特産物を持って美浦村産業文化祭に参加

十一月三日、姉妹村の茨城県美浦村で産業文化祭が開催されました。

村の里の味、川の味をいっぱい積み込んだトラックとともに一行十九名が参加しました。

今回で五回目の参加になりますが、前日は美浦村主催の歓迎会が同村の老人福祉センターで催され、熱烈な歓迎を受けお互いに親睦と交流を深めあいました。

産業文化祭当日は雨からも歓迎を受けたものの、持っていったゴボウ、梨、長芋、チューリップの球根、モクズガニなどが好評を博し、お昼までに完売し、美浦村の皆さんの見送りをあとにして帰村しました。

農業者年金受給者連盟の書道教室始まる

十一月五日、佐藤助役やJA横越村の来賓を迎え、農業者年金受給者連盟の書道教室発会式が行われました。

この書道教室の会員は十四名で、これまで独自の活動の機会が少なかった受給者連盟の会員同志が書道を通して仲間づくりを図るとともに、会員の生きがいづくりのために企画されたものです。

指導者は佐藤由一さん（横越中）で、毎週土曜の午後に教室が開催されています。この活動により農業者年金受給者の新規会員の加入促進にも役立つものと期待されます。

本間徳和さんが日本調理師会会長賞を受賞

十月十二日新潟市で㈱新潟県調理師会の創設30周年を記念した料理コンクールが開催され、「本徳」の本間徳和さん（横越中）が日本調理師会々長賞を受賞しました。

作品の審査は献立の独創性、素材の活用、美的感覚、包丁技術、実用性、栄養のバランスそして地域の特性と七項目の審査をうけました。

本間さんは材料費が五千円と限られた中での献立づくりにいちばん苦労したそうです。女性をターゲットにして野菜に重点をおき満腹感を与え、秋の季節感が味わえるように作ったそうです。県下二十支部の代表の百五十店が参加するなかでの受賞とあって本間さんの喜びも格別でした。

小杉地区で村政懇談会開催

十一月二十日に、小杉地区コミュニティセンターで小杉地区の村政懇談会が開催され地区住民四十名ほどが参加しました。

住民の方からは道路や排水路の整備、公民館設備の充実、農村公園管理のほか、高齢者のマイクロバス利用の基準の緩和、自転車道の整備、保育園の運営についての要望が出されました。

また、下水道の事業計画、空き缶回収などの村のリサイクルに関する計画、阿賀野川の白鳥の保護に関して村長はじめ助役担当課長などの考えについての説明等が求められ、活発に意見交換が行われました。